

平成 24 年度

# 草加市民アンケート

概要版



平成24年度

# 草加市民アンケート

調査の概要

## 調査の設計

**調査対象** 市内在住の満20歳以上の男女個人  
**対象者数** 3,500人  
**標本抽出** 住民基本台帳からの無作為抽出  
**調査期間** 平成24年10月10日～10月31日

**調査方法** 郵送法（郵送配付-郵送回収法・ハガキによる督促1回）  
**回収数** 1,891件  
**回収率** 54.0%

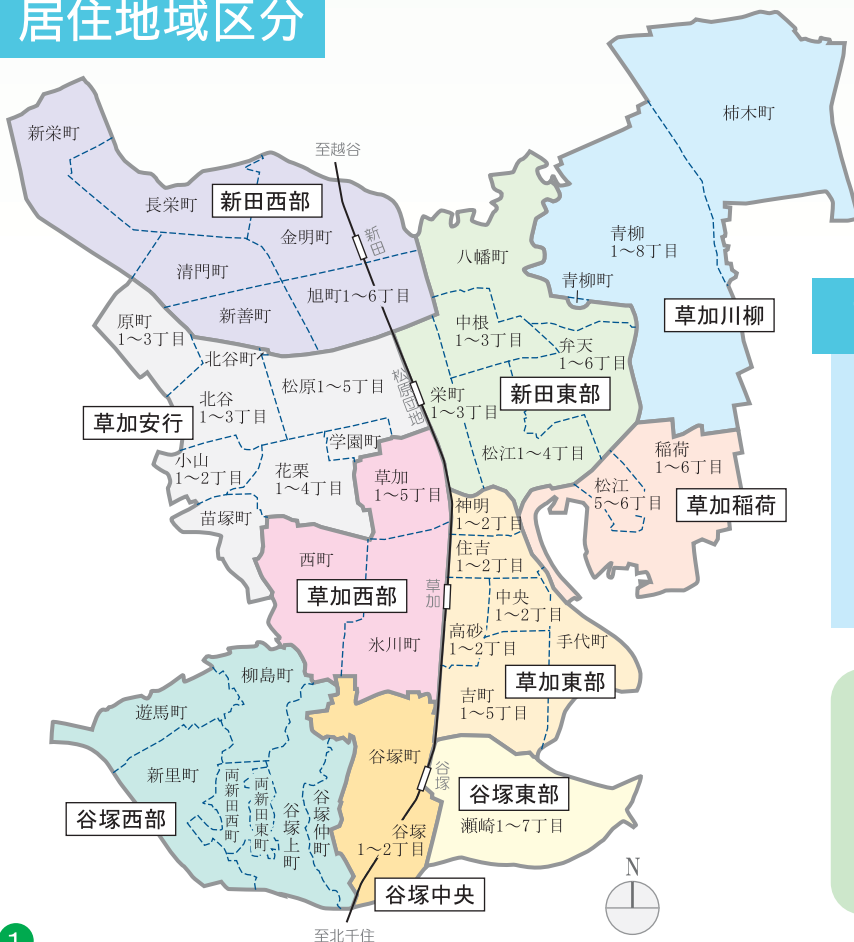
## 回答者の属性

	基数 (人)	構成比 (%)
合計	1,891	100.0
男性	766	40.5
女性	1,083	57.3
無回答	42	2.2

	全体		男性		女性	
	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)
合計	1,891	100.0	766	100.0	1,083	100.0
20歳代	164	8.7	87	11.4	77	7.1
30歳代	303	16.0	108	14.1	195	18.0
40歳代	362	19.1	135	17.6	226	20.9
50歳代	258	13.6	86	11.2	171	15.8
60歳代	382	20.2	169	22.1	212	19.6
70歳以上	389	20.6	180	23.5	202	18.7
無回答	33	1.7	1	0.1	0	0.0

※性別の無回答が42人いるため、「男性」と「女性」を合わせても「全体」の人数になりません。

## 居住地域区分



## 調査項目

- A 市民の生活に関すること
- B 草加市の基本となる施策(注1)に関すること

(注1) 草加市の基本となる施策とは、第三次草加市総合振興計画が掲げる将来都市像の「快適都市-草加-」の実現に向けて取り組んでいる施策のことです。

### ■ 調査結果の見方

調査結果の数値は、原則として回答の比率(%)で表記しています。集計は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

# A 市民の生活に関すること

## 1 市の暮らしやすさ・定住意向

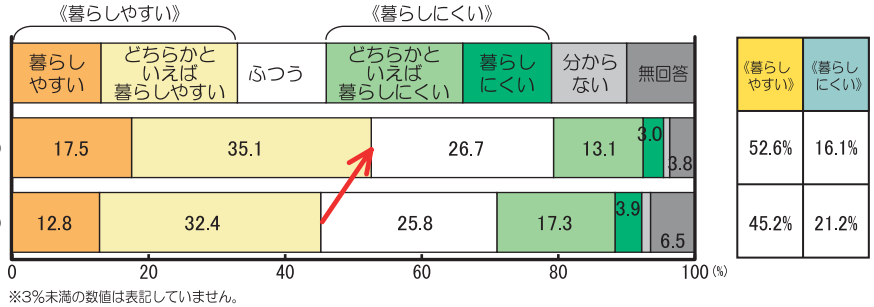
**市の暮らしやすさ 質問** あなたは、今住んでいる草加市を暮らしやすい所であると思いますか。

前回の平成22年度調査より  
《暮らしやすい》が  
7.4ポイント増えました。

※グラフ内の( )はその質問  
に対する回答者数を表してい  
ます。以下同じ。

平成24年度調査(1,891人)

平成22年度調査(1,973人)

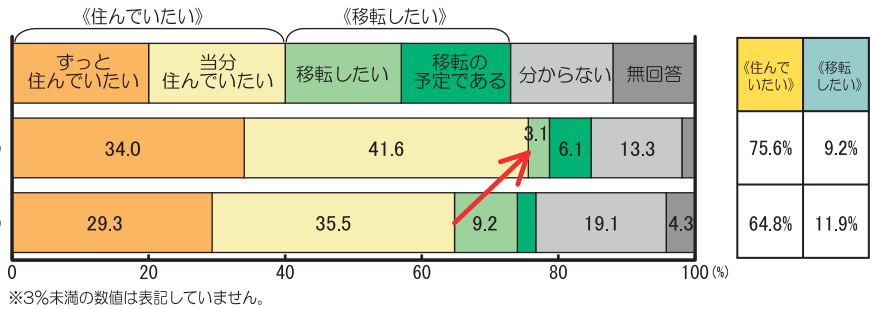


**市への定住意向 質問** あなたは、今後も草加市に住み続けたいとお考えですか。(〇は1つ)

前回の平成22年度調査より  
《住んでいたい》が  
10.8ポイント増えました。

平成24年度調査(1,891人)

平成22年度調査(1,973人)



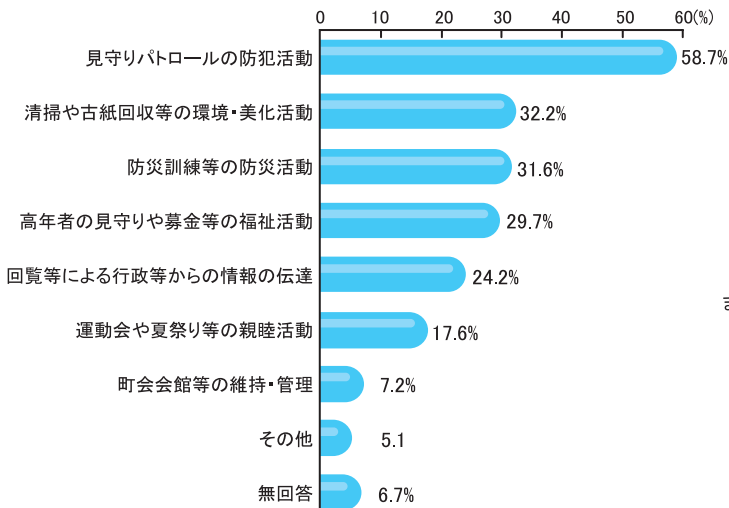
## 2 市民自治について

**町会・自治会に期待すること**

**質問** あなたがお住まいの地域の町会・自治会に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「見守りパトロール等の防犯活動」を  
約6割の人が望んでいます。

(回答者数1,891人)

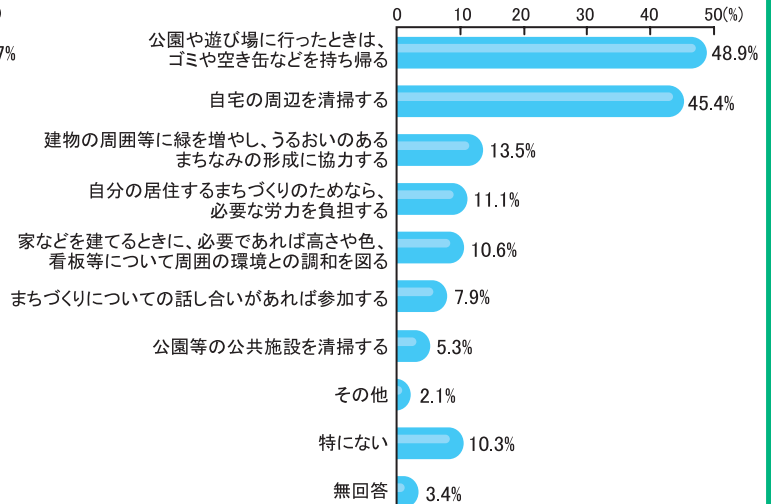


**市民が参加・協力できること**

**質問** あなたは、地域のまちづくりについては、どのようなかたちで参加・協力できると思いますか。(〇は2つまで)

4割半ばの人が「ゴミや空き缶を持ち帰る」  
「自宅の周辺の清掃をする」と答えました。

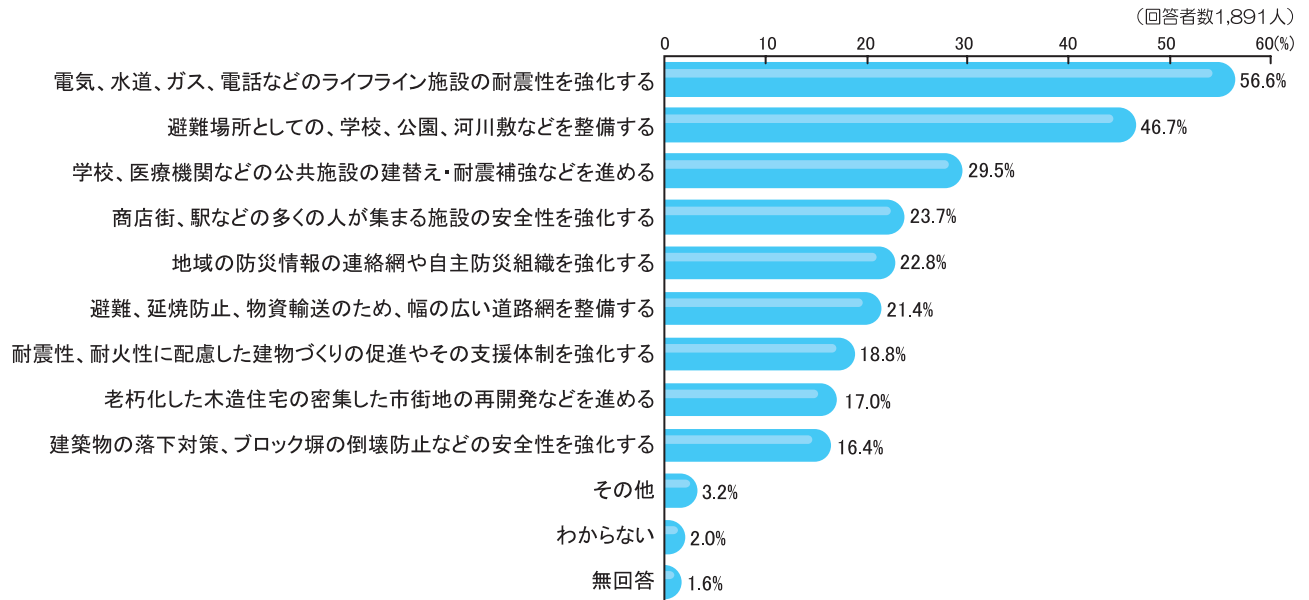
(回答者数1,891人)



## 市が進めるべき「地震に強いまちづくり」とは

**質問** 東日本大震災の教訓として、今後、地震に強いまちづくりが求められていくと考えられますが、草加市では具体的に何を進めていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

多くの人が、市にはライフラインの耐震性の強化や、災害時の避難場所の整備を求めています。



## 同居家族の人別クロス集計・上位5位

区分	1位	2位	3位	4位	5位
全体(1,891人)	ライフライン施設の耐震性を強化 56.6%	避難場所(学校・公園等)の整備 46.7%	公共施設の建替え・耐震補強 29.5%	商店街・駅などの施設の安全性を強化 23.7%	地域の防災情報関連連網・自主防災組織の強化 22.8%
同居家族に小学校就学前の子どもがいる(222人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.1%	公共施設の建替え・耐震補強 49.5%	避難場所(学校・公園等)の整備 44.1%	避難、物資輸送等のため幅の広い道路整備 22.5%	地域の防災情報関連連網・自主防災組織の強化 22.1%
同居家族に高校生以下の子どものいる(524人)	ライフライン施設の耐震性を強化 58.2%	避難場所(学校・公園等)の整備 49.4%	公共施設の建替え・耐震補強 47.9%	避難、物資輸送等のため幅の広い道路整備 22.3%	地域の防災情報関連連網・自主防災組織の強化 19.8%
同居家族に65歳以上の方のいる(693人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.7%	避難場所(学校・公園等)の整備 49.8%	地域の防災情報関連連網・自主防災組織の強化 23.8%	公共施設の建替え・耐震補強 23.7%	商店街・駅などの施設の安全性を強化 22.7%

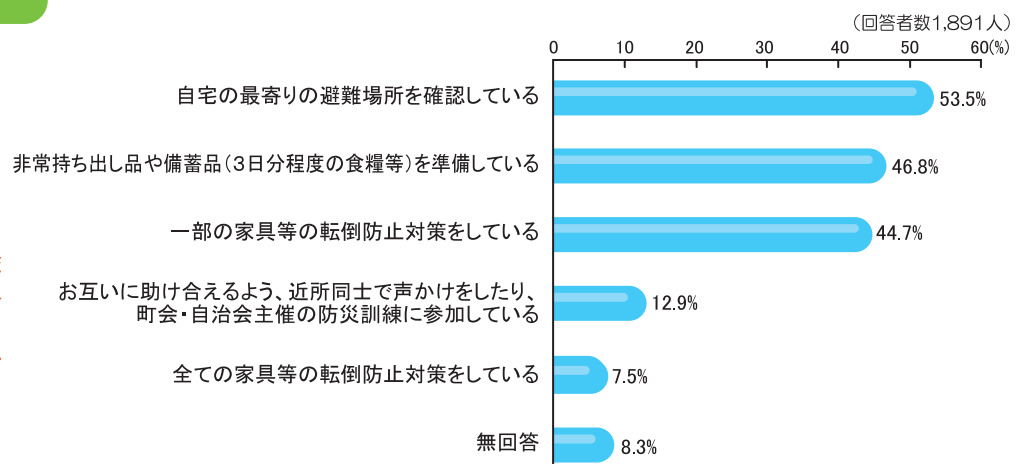
同居家族に小学校就学前の子ども、高校生以下の子どもの、65歳以上の方のいる家庭それぞれで求めるものの順位が変化しています。

## 家庭での防災対策について

## 質問

あなたは、災害に備えてどのような対策をとっていますか。（〇はいくつでも）

家庭では、「自宅の最寄りの避難場所の確認」「備蓄品の準備」「家具の転倒防止」の対策をとっている人が多くなっています。



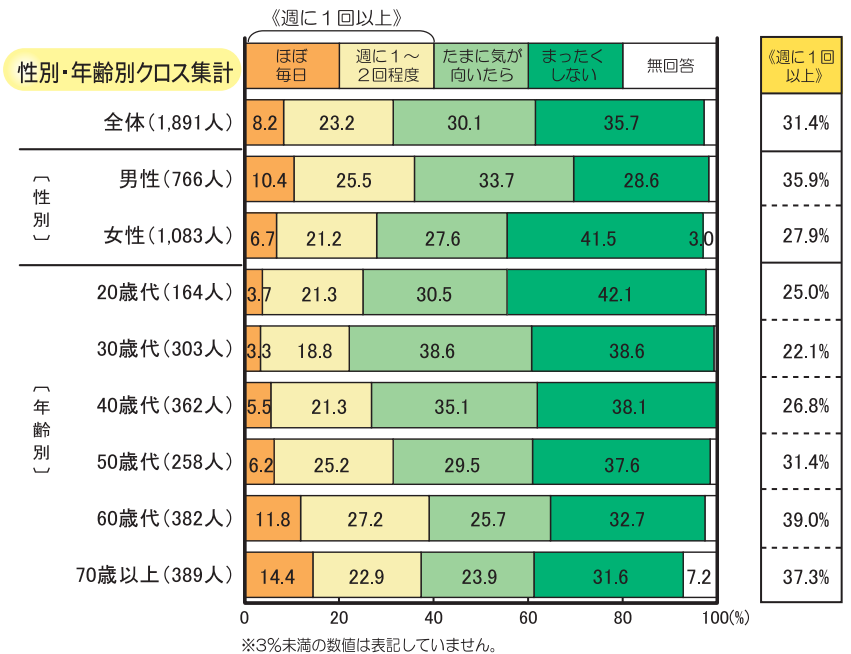
# 4 スポーツについて

## 市民がスポーツを行う頻度について

**質問** あなたは、1週間でどのくらいの頻度でスポーツを行っていますか。(〇は1つ)

3割強の人が「週に1回以上」スポーツを行っています。

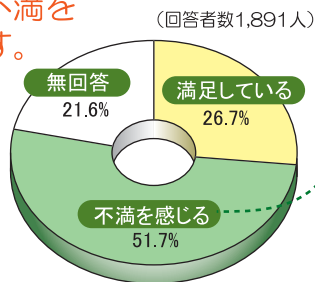
「週に1回以上」スポーツを行う人は、性別でみると、男性が3割半ばと多く、年齢別でみると、年齢が高くなるとともに増加傾向にあります。



## 市のスポーツ施設の満足度について

**質問** あなたは、現在の草加市のスポーツ施設に満足していますか。(〇は1つ)

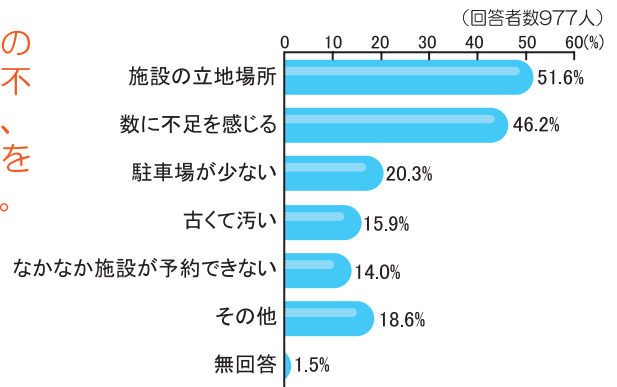
市のスポーツ施設に、半数の人が不満を感じています。



## 市のスポーツ施設に不満を感じる理由について

**質問** 市のスポーツ施設に不満を感じるとお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

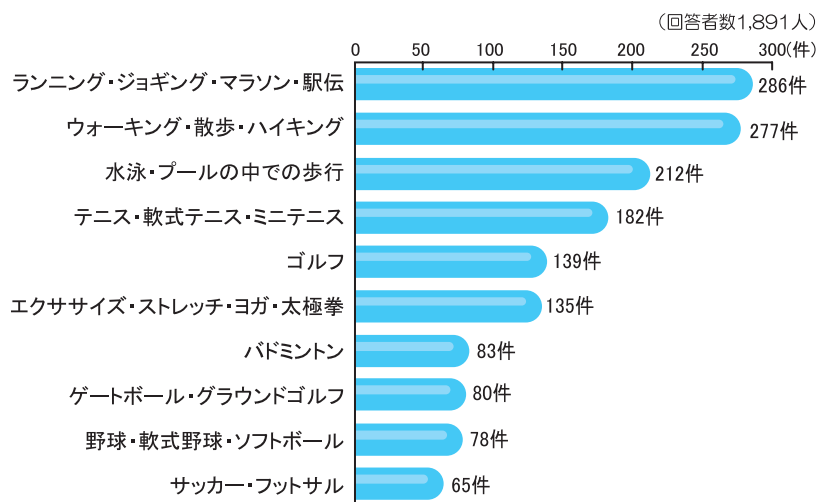
スポーツ施設の「立地場所に不満」、また、「数に不足」を感じています。



## 市民が行いたいスポーツ・上位10位

**質問** あなたは、どのようなスポーツを行いたいと思いますか。自由にお書きください。

ランニングやウォーキングなど、手軽にできるスポーツを行いたいと思っている人が多くなっています。



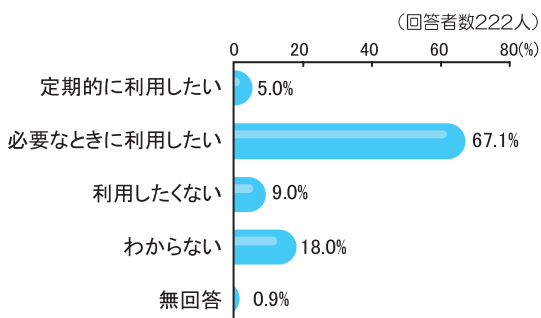
# 5 子どもの一時保育

※小学校就学前のお子さんがある方への質問です。

## 一時保育の利用希望について

**質問** 一部の保育園で実施している、一時的にお子さんを保育園でお預かりする一時保育を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

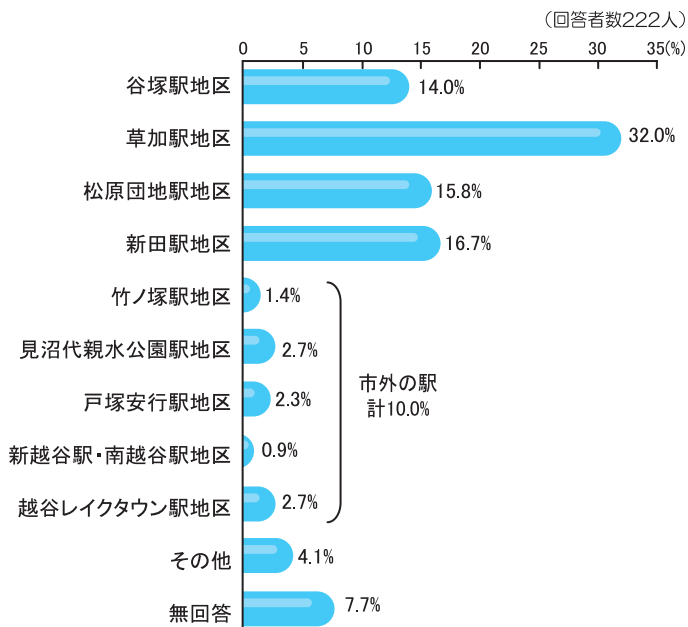
小学校就学前の子どもがいる人の6割半ばが、一時保育を「必要な時に利用したい」と思っています。



## 一時保育の利用希望地区について

**質問** 一時保育を利用する場合、どの地区で利用したいですか。(〇は1つ)

草加駅周辺地区の利用希望が多くなっています。なお、市外の駅についても、合計で1割程度の希望があります。



# 6 ペットの飼育とマナー

## ペットの飼育について

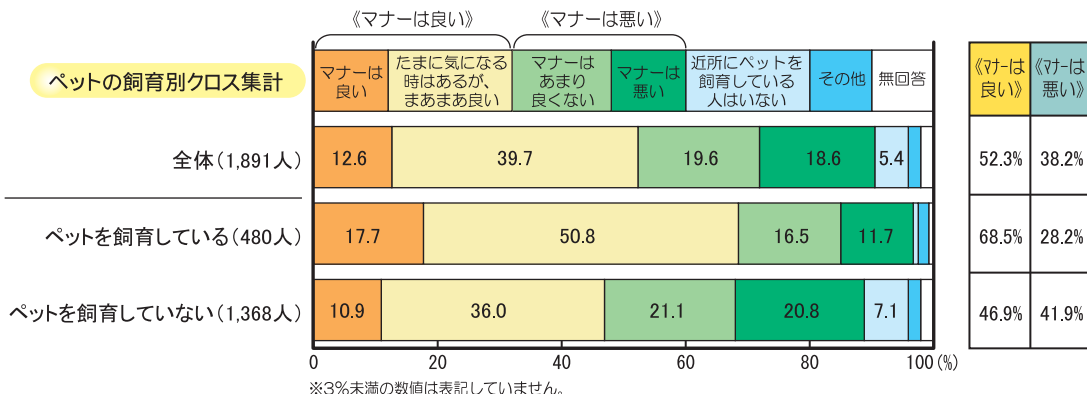
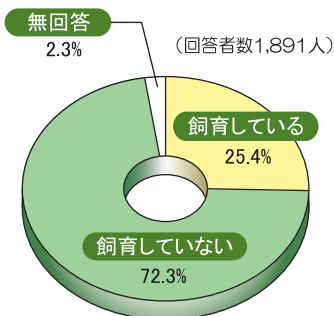
**質問** あなた、またはあなたの同居の家族は、ペットを飼育していますか。(〇は1つ)

4人に1人がペットを飼育しています。

## ペットを飼育している人の飼育マナーについて

**質問** あなたがお住まいの近所の、ペットを飼育している人の飼育マナーについてどう思いますか。(〇は1つ)

飼育マナーは《良い》が半数を超えます。ペットを飼育している人の方が、飼育していない人より、飼育の《マナーが良い》と回答する割合は多くなっています。



# B 草加市の基本となる施策に関すること

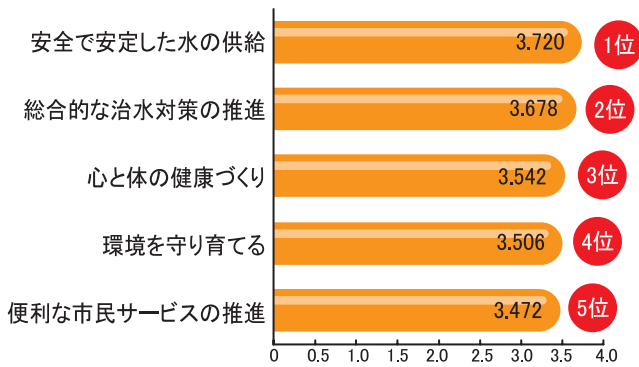
## 1 満足度・重要度の評価

草加市で生活していく上で満足している施策、及び「快適都市一草加一」を実現する上で重要な施策について伺いました。

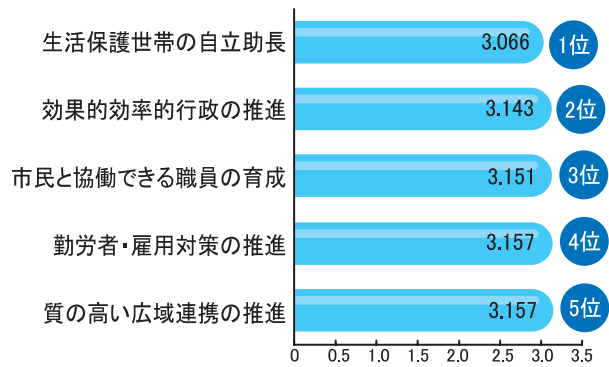
### 満足度

平成22年度調査よりも満足度が上がったものは34施策中33施策、下がったものは1施策ですがその差はごくわずかで、総じて市民の満足度は高くなっています。

#### 平均点（注2）の高い上位5位



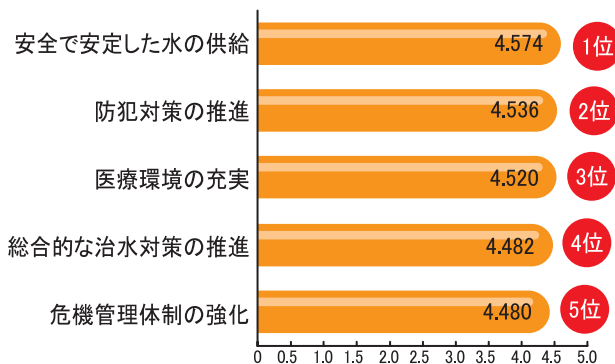
#### 平均点の低い下位5位



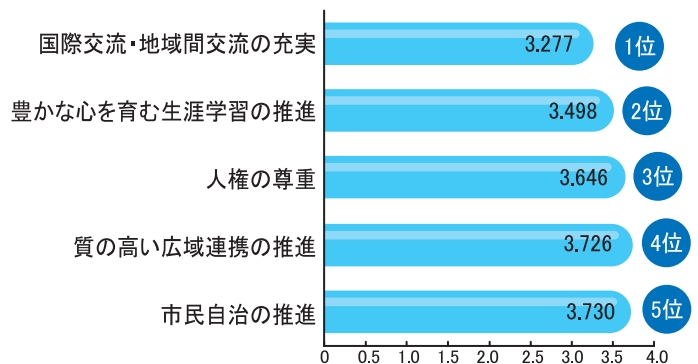
### 重要度

平成22年度調査よりも重要度が上がったものは34施策中20施策、下がったものは14施策です。

#### 平均点（注3）の高い上位5位



#### 平均点の低い下位5位



（注2）満足度の平均点の計算方法  
「満足」から「不満足」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、回答数で除したものを平均点とした。

選択肢	点数（点）
満足	5
やや満足	4
どちらともいえない	3
やや不満足	2
不満足	1

（注3）重要度の平均点の計算方法  
「重要」から「重要ではない」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、回答数で除したものを平均点とした。

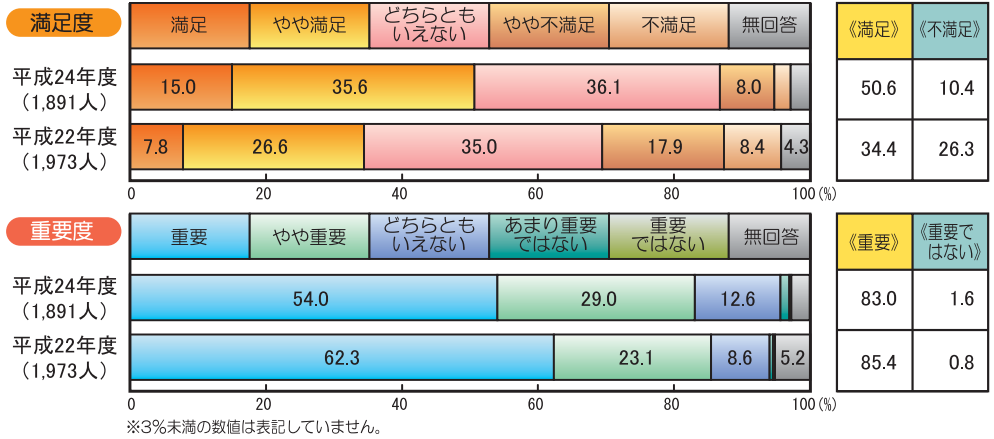
選択肢	点数（点）
重要	5
やや重要	4
どちらともいえない	3
あまり重要ではない	2
重要ではない	1

前回（平成22年度調査）と平成24年度調査を比較して、「【重要度】が7割を超える施策」であり、なおかつ「【満足度】が増加している施策」のうち、【満足度】の上昇率の高い順は、「心と身体の健康づくり」、「緑の保全と創出」、「水環境の改善」となります。

## 心と体の健康づくり

《満足》は16.2ポイント増加し5割、  
《不満足》は15.9ポイント減少し1割。

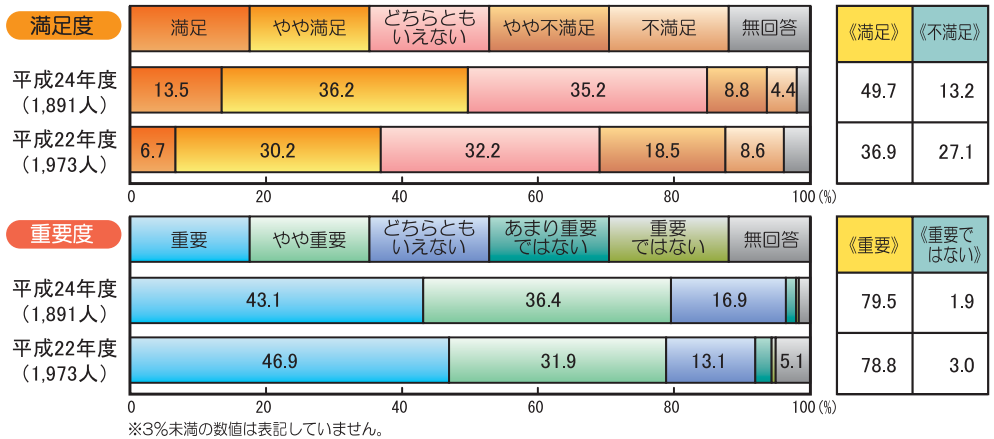
《重要》は2.4ポイント減少し8割強、  
《重要ではない》は0.8ポイント増加し1.6%。



## 緑の保全と創出

《満足》は12.8ポイント増加し約5割、  
《不満足》は13.9ポイント減少し1割半ば。

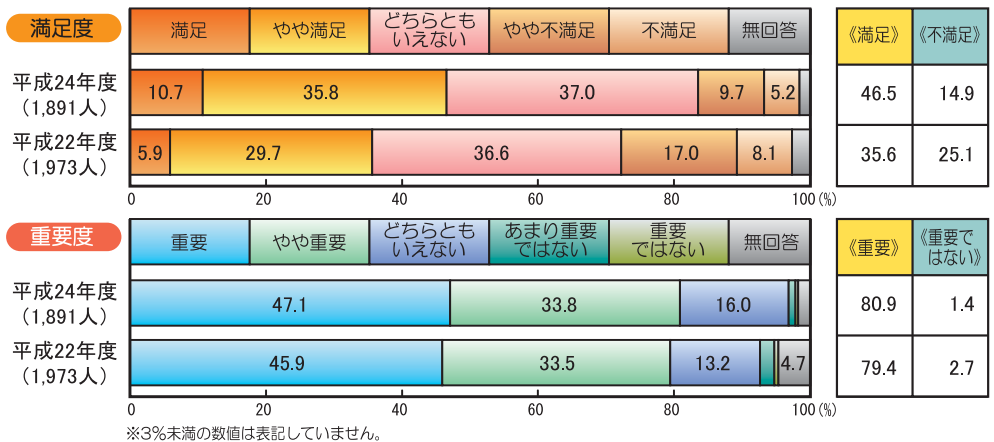
《重要》は0.7ポイント増加し約8割、  
《重要ではない》は1.1ポイント減少し1.9%。



## 水環境の改善

《満足》は10.9ポイント増加し4割半ば、  
《不満足》は10.2ポイント減少し1割半ば。

《重要》は1.5ポイント増加し8割、  
《重要ではない》は0.7ポイント減少し1.4%。



### 平成24年度 草加市民アンケート 概要版

平成25年2月

発行 草加市役所 市長室市民相談担当  
〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号  
電話 048-922-0566（直通）

調査実施 株式会社 アイアールエス  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目16番11号  
電話 03-3357-7181